



2012 ダイワカワハギオープン 決勝大会結果



11月3日(土)8:00平作川開国橋出船 終了は14:00、ポイント竹岡沖での決勝戦となる。弱い北東の風、大潮直後の中潮で、7:30が満潮、13:00が干潮となる。船釣りはどうしても釣り座で有利不利が生じてしまう釣り。概ね船の四隅が有利とされるカワハギ釣りなので、釣り座抽選はこの決勝戦でもその日を占う大切なセレモニーとなる。右舷の舳には、2次予選を唯一胴の間から勝ち進んできた村越正海さん。右舷艦には、2次予選を左舷の同じく艦から勝ち進んできた小林直樹さん。左舷の舳には、船最前線プロガーでお馴染みの林良一さん。そして左舷の艦には、昨年もこの釣り座を引き当てた東海から参戦の鈴木康一さんという布陣になった。昨年のチャンプ小泉卓也さんは、右舷の前2。船最前線プロガー堀江晴夫さんは、右舷の艦2、そして今年最強との呼び声も高い鈴木孝さんは、なんと右舷の胴の間となった。

右舷の選手



左舷の選手





朝から昼過ぎまでは落としの潮で北東風。艫有利と見られていたが、開始直後よりスタートダッシュしたのは、右舷側の鈴木孝さん。得意の遠投釣法で、ひとり別世界の釣れっぷり。若手NO1の呼び声の隣の山下雄大さん、その隣の堀江晴夫さんあたりが続く展開。もっとも有利な釣り座と見られていた小林直樹さんは、開始早々のライントラブルで思わぬ時間ロスとなり、ペースが狂って手が合わず苦戦。12時くらいまでは右舷側の釣果が左舷側を上回るペースの展開が続き、艫の間(実は鈴木さん、前後2~3番くらいの中途半端な席よりは、真ん中の方がいい・・・と常々言っていたが)の鈴木孝さんがこのまま最後まで行くのでは・・・と見られていた。



ところが下げ潮が止まり、上げの潮が入り始めると左舷側、中でも舳でしぶとく一枚ずつ拾っていた林良一さんが怒涛の連釣。最後の1時間でダブル3回、4~5投連続掛けの猛追を見せ始めた。右舷はというと、絶好調だった鈴木孝さんの竿がピタリと止まった。前からは、前半やや出遅れた松本勝誠さんと坂巻春文さんが、また後ろからは山下雄大さんと堀江晴夫さんがきっちり拾い、両側をおさえられてど真ん中の鈴木さんには魚が回ってこない。14:00試合終了時点で、手元の集計では同数もしくは林さんの逆転か・・・と言ったところだったが、検量の結果、1枚差で林さんの逆転勝ちとなった。

1次予選、2次予選を通じて圧倒的な強さだった鈴木孝さんの実力は、艫の間でもいかに発揮され、見事な準優勝。また、昨年のチャンピオン小泉卓也さんも堂々の3位は見事。さらに全員の釣果を見ていただくとおわかりのように、最終的には皆さんきっちりと数を揃えているところは、流石DKOのファイナリストと言うほかはない。左舷・右舷、前・後を問わずこれだけの釣果が出ることは、乗り合い船ではほとんどあり得ないこと。それだけ腕が揃っているということで、自分の前に魚がいれば確実に釣ってしまうということの証明とも言えよう。



東海予選から進出された4選手は、遠方から本当にありがとうございました、そしてお疲れ様でした。念願の決勝進出を果たしながら、急用でご参加いただけなかった田中義博さんは、また来年ぜひチャレンジしてください。そして、10年間ご協力いただいた巳の助丸さん、山下丸さん、やまてん丸さんには感謝申し上げます。またこれまでご参加いただいた全選手の皆様にも、この場をお借りして御礼申し上げます。来年もスタッフ一同さらに良い大会になりますよう努力する所存です。これからもよろしく願いいたします。



優勝: 林 良一選手

前半は四隅の利点を生かして釣れないながらぼつぼつと取っていました。潮が変わって釣れだしたのが13時近くからで、偶然にやまてんさんからアナウンスがあって「鈴木さんがトップ、林さんが追いついています。」小心者の僕はドキドキしました。10周年ということで今回は取材が入っていましたが、集中力を切らさず自分の釣りができました。夢であったDKOの一番高い所に登れて自分としては感無量で涙が出そうなくらい嬉しいです。

準優勝: 鈴木 孝選手

全般的には自分の釣りがハマった形で出遅れないように時間で5枚、6枚のペースで掛けていましたが、後半、前から上げ潮が入ってくるようになってからだと後ろは回りが悪くなってしまい、最後は失速する形でやられてしまいました。あのポジションで一枚差という結果は個人的には納得しています。



3位: 小泉 卓也選手

今日はずっと同じ釣りをしようと思っていました。隣では投げてカワハギを釣ったりして焦る時もありましたが、常に同じ方法で釣っているとどこかで絶対に釣れるパターンになりますので、それだけを考えてなるべく周りを見ずに釣りをしていました。去年は上で釣れることもあったので迷うことはなかったのですが今年に関しては上では掛からないし油断するとつんつるてんになってしまうので難しく感じました。

船最前線

船最前線では、入賞者のコメント動画もアップ予定です。また、船最前線ブロガーも決勝戦の戦況をアップしています。「船最前線ブログ」へは、こちらをクリックください。

[宮澤レポート](#) [堀江レポート](#) [萱沼レポート](#) [林レポート](#) [湯澤レポート](#)

※一次予選・二次予選の画像レポートはこちらをクリック

みよし

枚数					枚数	
35	林 良一 選手	左-1		右-1	村越 正海 選手	19
17	早坂 良行 選手	左-2		右-2	小泉 卓也 選手	26
16	佐野 元喜 選手	左-3		右-3	松本 勝誠 選手	15
15	鈴木 正光 選手	左-4		右-4	坂巻 春文 選手	20
15	鈴木 泰成 選手	左-5		右-5	鈴木 孝 選手	34
7	上田 光春 選手	左-6		右-6	山下 雄大 選手	23
19	石田 昌伸 選手	左-7		右-7	堀江 晴夫 選手	25
21	鈴木 康一 選手	左-8		右-8	小林 直樹 選手	12

優勝	林 良一	足立区	左-1	35
2	鈴木 孝	江戸川区	右-5	34
3	小泉 卓也	小平市	右-2	26
4	堀江 晴夫	横浜市	右-7	25
5	山下 雄大	江戸川区	右-6	23
6	鈴木 康一	愛知県豊橋市	左-8	21
7	坂巻 春文	藤沢市	右-4	20
8	石田 昌伸	大田区	左-7	19
9	村越 正海	小田原市	右-1	19
10	早坂 良行	横浜市	左-2	17
11	佐野 元喜	港区	左-3	16
12	鈴木 正光	横浜市	左-4	15
13	鈴木 泰成	愛知県知多郡	左-5	15
14	松本 勝誠	兵庫県明石市	右-3	15
15	小林 直樹	草加市	右-8	12
16	上田 光春	広島県廿日市市	左-6	7

※敬称略

※コンピューターの表示のため、旧漢字等を修正させていただくことがございます。予めご了承ください。

※釣った魚の総匹数で順位を決定いたします。同匹数の場合は、釣った魚1匹の最大重量で決定いたします。

※決勝大会の優勝者には次年度決勝大会のシード権が、2位・3位には二次予選又は東海決勝のシード権が与えられます。